

# 梅雨前線豪雨

## 熊本

# 人吉でバス・タクシー水没

九州地方を中心とする梅雨前線に伴う記録的な豪雨は、バス・タクシー業界にも車両の水没・浸水や運休など大きな被害をもたらした。国土交通省の10日午後2時時点の速報によると、高速バスを運休しているのは11社、一部運休は1社、地域の路線バスの運休は9社、一部運休14社に広がっている。バスの施設・車両の浸水被害は1社、26台、タクシーは16社、126台に上っている。甚大な被害を受けた熊本県人吉市では、バス・タクシー車両が水没する惨事に見舞われた。

## つばめタクシーの26台被害

# 福祉車両不足が痛手

4日、球磨川が氾濫した熊本県人吉市。つばめタクシー（北昌二郎社長）は保

有車両37台中、26台が水に浸かったり、道路に流されたりした。

北社長は「市内で、車いすを乗せられるタクシー車両を持ってるのは私たちだけだったが、5台すべてが使えなくなった。通院に困っている人がいるので譲

ってほしい」と訴える。近ほとんど水に浸かった。過に集中し、被害が大きい。くのLPガススタンドも被害に洪水はあったが、く心を痛めている。これから災したため、ガソリン仕様一部（こんなことは初めて。何力月かかるか分からない）を求めている。すぐに会社に行きたかったが、コロナや豪雨が終息した折には、全国の皆さんに人吉に遊びに来てほしい」と願っている。

無線配車室がある本社1階部分が水没した。水の高さは1・7メートルに達した。乗務員や職員も自宅などが営業に出ている数台と、本社から離れた倉庫に置いていたジャンボタクシー3台、ランドンタクシーは被災を免れたが、今年導入したばかりのトヨタ「JAP ANタクシー」の2台は使用できないようだ。北社長は「新型コロナウイルス禍で体力がなくなってきたところで、さらに追い打ちをかけた」と肩を落す。ただ、避難所から通院する人や、自家用車がなくなつて買い物に行けない住民からの注文が相次ぎ、タクシー1台がフル稼働した。川を見て『まずいな』と感じ、別のタクシーの車庫に向かった。7台置いてあったので避難所の小学校に移動させた。雷雨の中、200メートルの距離を往復し、4台移したところでもまだ始めた。そのため膝まで水に浸かった。3台は諦めた。恐ろしさよりも夢中だった」と振り返る。

さらに「人吉の中心部は屋過ぎに水が引くと、タクシーが近くに流されていた。乗務員たちがロープを使って引っ張ろうとしていた

「何とか平常時に戻れるよう、今月中には10台復活させたい。『タクシーイン』料理の配達サービス（もまた始めた。そのためにも、登録やメーター検査、車検の手続きを簡素化してもらえれば」と話す。

人吉温泉観光協会の代表理事を務める北社長、一われわれは車だけだからいいが、ホテルや旅館は川沿い



球磨川が氾濫し、大量の水が流れ込んだ人吉市中。心部。右方の建物がつばめタクシーの本社（4日）



4日、球磨川が氾濫した熊本県人吉市。つばめタクシー（北昌二郎社長）は保

困っている人がいるので譲